

■ブルガリア：原子力発電所建設中止でロスアトムに賠償金

2016年12月9日付の報道によると、ブルガリアの国営電力会社 NEK はベレネ原子力発電所（100 万 kW×2 基）の建設中止に関して、発注先であるロシアの原子力企業 Atomstrojexport 社（ロスアトムの子会社）に 6 億 160 万ユーロの賠償金を支払った。これは、2014 年 6 月 14 日のジュネーブの国際仲裁裁判機関の判決に従うものである。ロスアトムの Kirill Komarov 副社長は、「ブルガリアは賠償問題に誠意を示しており、信頼できるビジネスパートナーである」とコメントした。同発電所の建設は元々ドイツの RWE との合弁で進められる予定であったが、RWE が 2009 年 10 月に撤退し、その後、新たな出資会社が見つからなかったため、ブルガリア政府は 2012 年に建設を断念したものである。しかし、同政府は建設に投資した 26 億レフ（約 1,600 億円）を無駄にしないよう、民間主導による工事再開する糸口を探っている。報道によると、同政府は新たに投資家を募集しており、中国企業を含めて 3 社が関心を示している。